

地域計画

策定年月日	令和7年3月26日
更新年月日	令和7年9月26日 (1回目)
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	近江八幡市 (252042)
地域名 (地域内農業集落名)	東町 (東)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	25.65 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	25.65 ha
② 田の面積	25.65 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	3.15 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	3.15 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

平成28年に農業法人東町営農組合を立ち上げ農業の集約化を図っているが、法人自体の後継者が育っていない。また、立ち上げ時個人で耕作をしていた数軒の農家も後継者がなく営農に土地を預けることになると予想される。営農も経営の安定化を図るためあれこれと利益の上がる作物栽培をしているが、人手不足で思うようにできていないのが現状である。今後、隣接する町との営農組合の合併を進める必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

高温障害に強い品種の稲作を中心に麦等を栽培し食用以外のユーカーリ等の植物栽培も手掛けていく。今後の農地維持を考えると、町内に認定農業者は一人いるが拡大は望めないため、大規模法人に農地を任せるか隣の町の営農組合との合併を行い地域農業の維持を図っていく必要がある。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
営農組合への土地集約を進めつつ、町内の個人耕作者と協力を行い町内の農地維持を図り放棄農地を作らないようにする。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	70.8	%	将来の目標とする集積率
			77 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
令和6年度の面積維持を図り5年後時点で離農者の面積を営農に集約する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
営農組合に農地集約を図るため、現在町内個人の耕作者が離農した時の受け皿となるように営農組合の基盤強化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
(3)基盤整備事業への取組
現在営農で預かっている圃場の所有者の理解が得られれば畦畔ブロックを取り除き少しでも大きな圃場にしていこうと今後話し合いにより進めていく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
町内に住まいを有する者を中心に大型農業に興味を持つ担い手を育成するため、JA等と連携しながら育成を図る。また、地域外からの移住者も受け入れていくことができるようにする。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
人員が必要な防除作業については、他町営農組合のビーグルでの防除の依頼を含めJAに依頼しヘリやドローンの活用も進めていく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☐ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

⑧担い手の営農や農業を担う者の利用状況を考慮の上、出荷・調整施設を整備し、農業用施設の集約化を進める。また、畦の維持管理を行う。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農		水稻・麦・大豆	13.70 ha	ha	水稻・麦・大豆	16.22 ha	ha		
利用者		水稻	1.74 ha	ha	水稻	1.74 ha	ha		
利用者		水稻	1.57 ha	ha	水稻	1.57 ha	ha		
利用者		水稻	1.44 ha	ha	水稻	1.44 ha	ha		
認農		水稻	1.18 ha	ha	水稻	1.18 ha	ha		
利用者		水稻	1.15 ha	ha	水稻	1.15 ha	ha		
認農		水稻	1.12 ha	ha	水稻	1.12 ha	ha		
認農		水稻	0.20 ha	ha	水稻	0.91 ha	ha		
認農		水稻	0.32 ha	ha	水稻	0.32 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	9経営体		22.43 ha	0 ha		25.65 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)